

学校教育目標：自ら学び、仲間と共に伸びる人間性豊かな子どもの育成

東 校長便り

ひがしの合言葉

「ひ」：人や生き物、持ち物を大切に

「が」：がんばり(一步一步目標に向かって)

「し」：しあわせになる

デジタルドリルを活用しています

先日、本校でデジタルドリル（ミライシード）を活用した学校視察訪問が行われ、5年生が算数の授業を公開しました。デジタルドリルは、子ども一人ひとりの学習進度に応じて個別に問題を解くことができ、ICTを活用して効果的に学習を進めるツールです。この授業では、子ども一人ひとりがデジタルドリルに記録された自分の学習履歴を



確認し、これまでの成果や課題を振り返りました。次に、クラス全体でそれぞれの学習状況を共有し、今後どのように学びを進めていくかについて考えました。お互いに学習の進み具合を知ることで、クラス全体の学びの意識が高まるとともに、自分自身の学習にも良い影響を与えていました。



その後、子どもたちは自分で考えた学習の進め方に基づいて、個別学習に取り組みました。子どもたちはそれぞれのペースで問題を解き進め、わからないことがあれば先生に質問して助けを受けながら学習を深めて

いきました。担任の先生は教室内を回りながら子どもの様子を見守り、全体の進行状況をモニターで確認しつつ、個々の支援を行います。子どもたちは自分のペースで安心して学べる環境の下、意欲的に学習を進めることができていました。

授業の最後には、自分がどのように学習を進めたかを振り返り、これからの学習計画を確認しました。この振り返りの時間を通じて、子どもたちは自分の学び方を考え直し、より良い方法で学びを進める工夫をしていました。こうしたプロセスは、学習を効果的に進めるために大切な時間です。



自分の学びを振り返ることは、算数に限らず、他の教科や日常生活にも大いに役立ちます。これからも、子どもたちが自分自身を見つめ直し、より良い学びや生活を送るための力をつけていけるよう、学校全体でしっかりと支えていきたいと考えています。

----- 切り取り線 -----

※ご意見・ご感想をお願いします。 ()年()組 保護者氏名()